***国際連携タスクフォース活動計画***

　国際連携タスクフォースは、新たな経済連携協定や貿易円滑化協定などの国際取引の枠組みの中で、商取引・金融・生産の情報連携による第4次産業革命の推進に対応したビジネスインフラ構築のために、関連タスクフォースと国連CEFACT日本委員会・標準促進委員会と協力して、国連CEFACTおよびアジア地域における国際連携調査研究を行う。

（１）国連CEFACTにおける国際標準化とその普及

・国連CEFACT日本委員会の下、国連CEFACTにおける手法技術PDA、サプライチェーンPDA、およびライブラリ管理チームに参加し、日本提案を含む標準の策定・保守と普及に貢献する。

* 第30回国連CEFACTフォーラム（イタリア）　2017年10月

・AFACT等を通じ、アジア各国の情報連携電子化状況とその取組みを調査するとともに、国連CEFACT標準に基づくSIPSビジネスインフラの普及を図る。

* AFACT中間会議（淡水：台湾）　2017年4月
* AFACT総会（台北：台湾）　2017年9月

（２）新生技術対応ビジネスインフラ研究

・将来のビジネスインフラの要素技術となりえる、AI、IOT、FinTech、ビッグデータ、サイバーセキュリティなどの調査研究のため、有識者によるラウンドテーブルを開催する。

・新生技術を取り込むSIPSフレームワークを検討し、関係団体との技術的調整を図る。

以上

スケジュール

